

所管事務調査報告書

平成30年12月10日

洞爺湖町議会議長 佐々木 良 一 様

経済常任委員会委員長 板垣 正 人

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査その1

- 1 調査事項 NPO法人洞爺まちづくり観光協会の現況と課題について
- 2 調査日 平成30年11月29日(木)
- 3 出席委員 板垣委員長、大屋委員、篠原委員、大西委員
- 4 説明員等 岡崎会長、京谷副会長、後藤事務局長
洞爺総合支所 伊藤支所長、庶務課 見付課長、尾崎主幹
- 5 調査結果

NPO法人洞爺まちづくり観光協会の会員は、団体正会員3名、正会員77名の計80名(前年比1名増)となっており、本年度も観光事業、宣伝事業や洞爺夏まつりなど各種事業を企画、開催した中で、入館者の入込みや売上の増収に鋭意努力されている。入館者数は4月から10月まで9万2,547人となっており、昨年より5,000人増加している。

また、キャンプ場や水上オートバイ等は台風や胆振東部地震のなどの影響により、利用客数で12.8%、金額で12.4%の減となっている状況である。

とうや水の駅の特産物販売額は、7月の天候不順や9月の台風、さらには地震の影響もあったが、ほぼ前年度並みの状況である。

本施設については、建設から相当年数が経過しており、暖房設備などの改善等も含め、抜本的な改修も視野に入れて検討する時期に来ていると思われる。

○所管事務調査その2

- 1 調査事項 JAとうや湖の現況と課題について
- 2 調査日 平成30年11月29日(木)
- 3 出席委員 板垣委員長、岡崎副委員長、大屋委員、篠原委員、大西委員
- 4 説明員等 高井組合長、大内参事、橋堀営農販売部長、黄金崎クリーン農業推進課長、高橋農業振興第1課長
洞爺総合支所 伊藤支所長、農業振興課 片岸課長
- 5 調査結果

平成29年のJAとうや湖の全体販売高における洞爺湖町の販売高は、青果で約16億7,600万円(前年比9.1%減)、農産で約3億7,900万円(前年比25%増)、畜産で約3億8,600万円(前年比4.1%増)、全体で24億4,200万円(前年比3.1%減)となっている。平成30年度では6月からの長雨や台風などの影響により、全体として約20%の減収が見られ、農家にとって大変厳しい状況にある。

今年の農作物の生育及び収穫状況について、水稻、豆類全般においては6月～7月の低温・日照不足や台風などの影響により生育不良、収量も平年作以下であった。馬鈴薯は小玉傾向でやや遅れ、根菜類は不良、葉物はやや不良から平年並みとなっている。畜産や生乳生産量については、おおむね前年並みを推移している状況である。

クリーン農業については、多くの農家が生産物の安全・安心・信頼を担保した農地づくりに取り組んでおり、第三者認証(YES!クリーン認証農家142戸、エコファーマー認定者数57名)を取得している。

また、グローバルギャップ(11品目、認証者13名)については、11月4日から認証の審査を受けており、2020年の東京オリンピックに向けて、北海道とホクレンにより東京でレセプションが開催され、その取組みが紹介された。

現在の人参洗浄選別機は、平成10年から稼働しているが、近年の作付希望面積の増加により、選別体制の確立、作業効率の向上や作業環境の改善を図り、農業振興と人参生産者の所得向上につなげるため、新たに産地パワーアップ事業として、「人参洗浄選別機・収穫機」整備の計画がされており、当町の基幹産業である農業振興に有効な事業となることが望まれる。